

公益社団法人 日本水産学会  
平成 26 年度第 1 回理事会議事録

- 1 開催された日時 平成 26 年 3 月 8 日(土) 14 時 35 分～16 時 50 分
- 2 開催された場所 国立大学法人東京海洋大学  
品川キャンパス 9 号館 2 階 207 番講義室(東京都港区)
- 3 理事総数及び定足数  
総数 20 名、定足数 11 名
- 4 出席理事数 18 名  
(本人出席) 江口 充、金子豊二、河原栄二郎、小谷祐一、嵯峨直恆、桜井泰憲、  
佐竹幹雄、佐藤秀一、佐藤 實、鈴木伸洋、東海 正、古谷 研、  
松山倫也、皆川 恵、鷺尾圭司、和田時夫、渡邊良朗、渡部終五  
(監事出席) 阿部宏喜、瀬川 進  
(幹事出席) 遠藤英明、宮本佳則、高井則之、大迫一史、塩出大輔
- 5 議 案  
決議事項 第 1 号議案 「平成 26 年度定時社員総会の日時及び目的である事項」の件  
第 2 号議案 「平成 26 年度委員会委員交代」の件  
第 3 号議案 「平成 26 年度秋季大会募金目論見書」の件  
第 4 号議案 「男女共同参画学協会連絡会から内閣府等への要望書の提出」の件  
第 5 号議案 「異議申立書に対する回答書」の件  
第 6 号議案 「協賛」の件  
第 7 号議案 「入会承認」の件  
  
報告事項 平成 25 年度第 6 回理事会以降の職務執行の状況  
その他確認事項
- 6 議事の経過及びその結果  
(1) 定足数の確認等  
渡部会長が定足数の充足を確認し、続いて本会議の議事進行について説明があった。  
(2) 議案の審議状況及び議決結果等  
定款の規定に基づき、渡部会長が議長となり、本会議の成立を宣言し、議案の審議に移った。  
(決議事項)  
第 1 号議案 「平成 26 年度定時社員総会の日時及び目的である事項」の件(別紙 1)  
平成 26 年度公益社団法人日本水産学会社員総会資料の次第について、東海総務担当理事より説明があり、一部修正の上、出席理事全員一致でこれを可決した。  
続いて、東海総務担当理事より 6. 議事・第 1 号議案のうち、「平成 25 年度事業報告」の内容の説明があった。  
また、金子財務担当理事より 6. 議事・第 1 号議案のうち、「正味財産増減計算書及び財産目録」について、平成 25 年度決算書類(貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録)にもとづいて説明があった。。さらに、6. 議事・第 2 号議案「平成 26・27 年度役員(理事及び監事)選任の件」、および 6. 議事・第 3 号議案「名誉会員推薦の件」についても資料にもとづき、東海総務担当理事より説明があった。これらを総会の目的である事項とすることについて、資料の一部修正の上、出席理事全員一致で可決した。  
第 2 号議案 「平成 26 年度委員会委員交代」の件

東海総務担当理事より、委員会委員の交代について説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で次の通り可決した。

企画広報委員会	[選出]	川端 淳	[辞退]	大関芳沖
シンポジウム企画委員会	[選出]	若松宏樹	[辞退]	清水幾太郎
水産教育推進委員会	[選出]	糸井史朗	[辞退]	松宮政弘

第 3 号議案 「平成 26 年度秋季大会募金目論見書」の件

松山九州支部担当理事より、平成 26 年度秋季大会募金目論見書案について説明があり、審議の結果、一部修正の上、出席理事全員一致でこれを可決した。なお、金子財務担当理事より、振込先の口座名フリガナについては、“ニホンスサンガツカイ”ではなく“ニッポンスイサンガツカイ”が正式名称あることが指摘され、今後注意が必要であることが確認された。

第 4 号議案 「男女共同参画学協会連絡会から内閣府等への要望書の提出」の件

佐藤(秀)男女共同参画推進担当副理事より、男女共同参画学協会連絡会の一員として内閣府等への要望書を提出することについて説明があった。審議の結果、出席理事全員一致でこれを可決した。

第 5 号議案 「異議申立書に対する回答書」の件

佐藤(秀)理事より異議申立書に対する回答書について説明があり、審議の結果、出席理事全員一致で可決した。

第 6 号議案 「協賛」の件

東海総務担当理事より協賛希望 3 件について説明があり、審議の結果、出席理事全員一致で以下の協賛を可決した。

協賛： 第 53 回中海海底工学フォーラム

主催	中海海底工学フォーラム運営委員会
共催	東京大学生産技術研究所
協賛	日本船舶海洋工学会 他 6 団体
日程	平成 26 年 4 月 18 日(金)
場所	東京大学生産技術研究所 An 棟 2 階コンベンションホール「ハリコット」(東京都目黒区)
希望	協賛
負担金	なし

第 59 回低温生物工学会大会

主催	低温生物工学会
協賛	日本生物工学会 他 14 団体(予定)
日程	平成 26 年 6 月 28 日(土)・29 日(日)
場所	九州大学 国際ホール(福岡県福岡市)
希望	協賛
負担金	なし

第 28 回キッチン・キトサンシンポジウム

主催	日本キッチン・キトサン学会
共催	日本化学会・日本生物工学会
協賛	キトサン工業会 他 16 学会
日程	平成 26 年 8 月 7 日(木)・8 日(金)
場所	順天堂大学本郷キャンパスセンチュリータワー(東京都文京区)
希望	協賛
負担金	なし

## 第7号議案「入会承認」の件

審議の結果、出席理事全員一致で原案どおり可決した。

### (報告事項)

平成25年度第7回理事会以降の職務執行の状況

#### ・総務関係

東海担当理事より以下の報告があった。

- 1) 除名者、資格喪失者(会費未納)の会費納入による退会者への変更及び資格再取得(継続)についての報告

本件について以下の質疑応答があった。

渡部会長「資格喪失者は公表されるのか。」

東海理事「日本水産学会誌80巻3号(平成26年5月刊行)の会報に記載される予定である。」

金子理事「社員総会での公表はあるのか。」

東海理事「現在は行っていない。」

- 2) 会員管理データバックアップは、平成26年4月未完了を目標に作業中である。

#### ・企画広報関係

佐藤(秀)担当理事より、平成26年3月3日(月)に企画広報委員会が開催され、平成26年3月27日(木)に勉強会“震災からの復興-水産研究にもとめられる視点-”を開催することが報告された。

#### ・財務関係

金子担当理事より、新年度(平成26年3月)より弁護士顧問契約を行なうことが報告された。

#### ・編集関係

古谷担当理事より以下の報告があった。

- 1) Fisheries Science 誌における「スケトウダラの特集」を平成26年3月中にオンライン上で公開する予定である。この特集を掲載する本誌 Vol. 80 (2) には、総説2編(科研費による国際情報発信強化の一環としての総説と、編集委員会から依頼した総説)も併せて掲載予定で、総頁数286頁となる。

- 2) 編集委員会を平成26年3月30日に開催する。

#### ・シンポジウム関係

渡邊担当理事より、平成26年度秋季大会におけるシンポジウムが2件申請されていることが報告された。また、第1回シンポジウム委員会を平成26年3月30日(日)に開催することが報告された。

#### ・水産技術誌監修関係

和田担当理事より、水産技術誌6巻2号が平成26年2月20日に刊行され、7巻1号については平成26年9月頃に刊行予定であることが報告された。

#### ・国際交流関係

古谷担当理事より以下の報告があった。

- 1) 第2回日中韓合同シンポジウムの講演者を募集したところ、応募者は1名のみであったため、派遣講演者を継続して検討中である。
- 2) イギリス諸島水産学会との学术交流協定は、協定書の調印に向けて準備中である。
- 3) 平成26年3月30日(日)にアメリカ水産学会会長 Prof. Robert Hughes の講演会が予定されているので、積極的な参加をお願いしたい。本報告について以下の質疑応答があった。

佐藤(秀)理事「本講演は、アメリカのスポーツフィッシングの現状に関する内容である。」

渡部会長「視聴できるのは、会員限定であるのか。」

東海理事「委員会の講演会は、一般にも公開可能なので、この講演をどのように扱うかによる。本講演は、国際交流委員会の企画である。」

古谷理事「アナウンスは会員に限定しているが、一般への公開は問題ない。」

嵯峨理事「大会運営側としては、問題ない。担当理事で検討して、連絡を頂ければ対応する。」

古谷理事「国際交流委員会委員長と相談する。一般公開となった場合、大会のホームページへの掲載になる。」

#### ・漁業・資源管理関係

渡邊担当理事より、平成 26 年 3 月 27 日(木)に“北海道周辺の海獣被害”をテーマとした第 63 回講演会を開催し、また同日に懇話会委員会を開催する予定であることが報告された。

#### ・水圏環境関係

鷺尾担当理事より、平成 26 年 3 月 27 日(木)に水産環境保全委員会のシンポジウム“「地震・津波から 3 年後の東北地方太平洋沿岸域の現状」 天災による自然攪乱と修復による人為的攪乱”を開催し、また同日に委員会を開催する予定であることが報告された。

#### ・将来計画関係

和田担当理事より、次期の将来計画検討へ向けて論点整理した資料を事務局に提出したことが報告された。

#### ・支部関連

嵯峨理事(北海道支部担当)より、平成 26 年 3 月 27 日(木)から 31 日(月)に平成 26 年度春季大会を北海道大学水産学部(北海道函館市)に於いて開催することが報告された。

小谷理事(東北支部担当)より、平成 26 年 1 月 31 日(金)に支部例会、幹事会、総会を東北大学農学部で開催したことが報告された。例会では 2 題の講演「地方水試の役割について:猪ノ口伸幸(岩手県水産技術センター)」、「北里大学海洋生命科学部の調査研究—これまでと今後:緒方武比古(北里大学)」が行なわれた。

江口理事(近畿支部担当)より、平成 26 年 2 月に「海とさかな」自由研究・コンクールの講師として、支部会員が出張講義を行なったことが報告された。

松山理事(九州支部担当)より、平成 26 年 2 月 18 日(火)に「海とさかな」自由研究・コンクールの出張講義を支部会員が行なったことが報告された。

#### ・科研費分科細目等検討関連

桜井副会長より、春季秋季大会 4 回分の講演については整理を行なったが、科研費については水圏応用科学以外での申請が多く見られるので次回理事会までには、報告書が整理できることが報告された。これについて佐藤(秀)理事より「日本学術振興会学術システム研究センター研究委員会では科研費の分野細目が多すぎるので、見直しを検討している。」との追加報告がされた。

#### ・東日本大震災災害復興支援関連

渡部会長より、平成 26 年 3 月 8 日(土)に東日本大震災災害復興支援検討委員を開催し、次の検討事項が報告された。

- 1) 東北支部にある本会の災害復興支援拠点の今後について
- 2) 放射能関係についての話題提供
- 3) 来期の委員体制について

その他確認事項

#### ・委任状の回収について

東海総務担当理事より、平成 26 年度社員総会の委任状回収について以下の説明があった。総会資料は 3 月 12 日(水)に発送予定であるので、3 月 14 日(金)か、遅くとも 17 日(月)には会員の手元に届く予定である。同封した委任状の回答期限については 3 月 24 日を目処としており、総会成立に必要な過半数(1569 名)の回収を予定している。各支部には、事務局より回収数の報告を随時連絡するので、委任状回収率向上の協力をお願いする。

・次回理事会の開催について

渡部会長より、次回第 1 回理事会は平成 26 年 3 月 27 日(木)15 時から、国立大学法人北海道大学函館キャンパスで開催する予定である旨確認があった。

・学会賞受賞講演の座長・会場系の担当について

東海総務担当理事より、平成 26 年 3 月 29 日(土)・30 日(日)に行なわれる学会賞受賞講演の座長及び会場係について確認があった。

以上をもって議案の審議等を終了したので、16 時 50 分、議長は閉会を宣言し、解散した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した議長(代表理事)及び監事は記名押印する。

平成 26 年 3 月 8 日  
公益社団法人 日本水産学会

議長 会長(代表理事)

監 事

監 事